

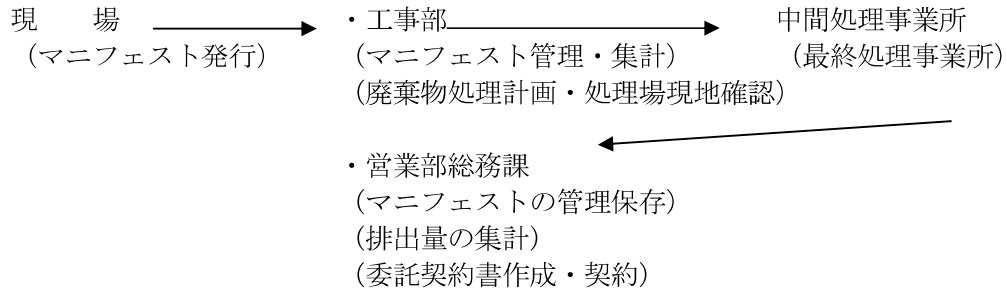
様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 2 6 日	
(あて先) 岐 阜 市 長 様	
<div><div>環指(廃) 第30-36号</div><div>-7.6.26</div><div>岐阜市役所</div></div>	提出者 住 所 岐阜市本荘西3丁目108 氏 名 未来土木株式会社 代表取締役社長 林 悠二朗 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0 5 8 - 2 5 3 - 5 3 0 6
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事 業 場 の 名 称	未来土木 株式会社
事 業 場 の 所 在 地	岐阜市本荘西 3 丁目 1 0 8
計 画 期 間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事 業 の 種 類	土木工事業・解体工事業
②事 業 の 規 模	¥ 1 0 0 , 0 0 0 , 0 0 0 ―― (完成工事高)
③従 業 員 数	4 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類→中間処理施設(破砕)→再生処理(リサイクル) 木くず →中間処理施設(破砕)→サーマルリサイクル 紙くず →中間処理施設(破砕・圧縮)→サーマルリサイクル 廃プラスチック→中間処理(破砕・圧縮)→サーマルリサイクル 廃ボード→中間処理(破砕・分別)→再生処理(リサイクル) 石綿含有建材→中間保管施設→埋め立て処分 ガラス・陶磁器くず→中間処理施設(破砕)→埋め立て処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



*マニフェスト 5年間保存

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 令和6年度）実績】 （別紙2参照）		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量		
	（これまでに実施した取り組み） コンクリート殻の小割 鉄筋の分別 ガラス陶磁器くずの先行撤去・搬出 内装材（ボード類・プラスチック類）の手作業撤去 屋根材の先行撤去（分別解体）		
② 計画	【目標】 （別紙1-2）		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 各現場において、最適な解体方法を選定し、リサイクルを前提に分別解体をすすめる。 混合廃棄物の量を減らし、リサイクル率を上げる。 汚れないプラスチックは、再生利用又はサーマルリサイクルできるように分別する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類(コンクリート殻・アスファルト殻・瓦類・ガラス類) 木くず、石膏ボード、せんいくず、廃プラスチック類)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物——分別を徹底する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 令和6年度）実績】 （別紙2参照）		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量		
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量		
	(これまでに実施した取組)		
	処理施設の定期的な視察・検査 適正に処理されているか、確認する マニフェストの回収の確認		

②計画	【目標】 未定		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リサイクル材の利用促進 分別解体の促進 (混合廃棄物の減量) 廃棄物の減量化 (現場での破碎、切断)		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
今年度(令和7年度)目標						
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	石綿含有建材	混合廃棄物
排出量 /t	1,000	80	6	2	8	3.0
産業廃棄物の種類	廃石膏ボード					
排出量 /t	0.2					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
前年度(令和6年度)実績							
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック	ガラス・陶磁器くず	石綿含有建材	混合廃棄物	廃石膏ボード
全処理委託量 /t	1,317.0	98.6	8.4	2.1	10.5	4.9	0.2
優良認定処理業者 への処理委託量		95.1					
再生利用業者への 処理委託量	1,317.0	3.5	8.4	2.1	10.5	4.9	0.2
認定熱回収業者へ の処理委託量							
認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量							